

TRACK BACK

From Reader's Voice

このコーナーではブログやメールを中心としてインターネット上に掲載されている皆様のご意見を掲載しております。本誌に関するご意見やご感想、またインターネットに対する疑問、質問、あなたの考え方など皆さんの発する情報に誌面で「トラックバック」を行っていきたいと思います。メールでのご意見ご感想もお待ちしております。

im-info@impress.co.jp

Search Engine Press

<http://blog.so-net.ne.jp/souseki/>

*
*
*

古くからのネットユーザーにとって、インターネットを始めるにあたってまず最初に手にしたのが『インターネットマガジン』だったのではないのでしょうか。

かつてはパソコンを買っても、いまのようにウェブブラウザやメールは標準の添付ソフトではなく、自らインストールする必要がありました。それどころか、PPPドライバといわれるインターネットを開始するのに必要最低限のソフトさえ自分の手でそろえなければならぬ時代がありました。

そうしたインターネットの黎明期に、必要なソフトがすべてそろった『インターネットマガジン』巻末の付属CD-ROMは必須のアイテムになっていました。誰もがそのCD-ROMを胸をときめかせてパソコンのCD-ROMドライブに挿入し、本に書かれた設定方法を真

剣に読み込みながら、苦労してネット環境を手に入れていたものです。

当時の分厚く重い体裁の『インターネットマガジン』は、その後インターネットの普及に伴い、無骨な体裁から洗練されたものへと変化し、付属CD-ROMもなくなりましたが、それでもやはり古くからのネットユーザーにとってこの本だけは特別な存在でした。

そんなネットユーザーのバイブルが創刊12年目にして来月で休刊するというニュースを今日知りました。とても残念でなりません。少しばかり大袈裟な言い方をすれば、いまこの国がインターネット先進国になったのも、ひとえにこの本があったからこそと言えるでしょう。

それに、いま自分がIT業界で働いているのも、この本があったからこそと言っても過言ではありません。心から感謝の言葉を贈りたいと思います。

本当にありがとうございました！

IburiTimes

<http://www.iburiworks.com/weblog/>

*
*
*

ネタフルさんより。

インターネットマガジンが休刊だそうです。

過去2回の大々的なリニューアルがありました。

そういう意味では今はインターネットマガジン3.0という感じでしょうかね。

プロ向けビジネス雑誌に変容を遂げ、この業界で働く者としてもっとも頼りにする雑誌の1つただただに残念です。

ロングラン雑誌の休刊というのは強い寂しさを覚えるものですが、それは時代の1つの象徴であるからに他なりません。雑誌というメディアの素敵な部分だと思います。

インターネットマガジン4.0としての復刊を期待しつつ、たくさんの方を教えてください。ありがとうございます。中の方おつかれさまでした。

編集部より



読者のみなさんの声をお届けしてきたこのコーナーも今月で最終回となりました。いつものようにブログを巡回していたのですが、某ウェブメディアで休刊がニュースとして取り上げられたこともあり、過去最大の検索ヒット率です。取り上げてもらって嬉しい反面、「休刊するなんて残念だ」という読者の言葉を聞くと、申し訳ない気持ちもします。

ただし休刊とはいっても、これからもインターネットの各分野をターゲットにした新メディアを立ち上げていく予定です。これからの展開にご期待ください。またお会いしましょう。<池田ま>

お詫びと訂正

本誌2006年4月号(No.135)にて以下の誤りがございました。ここに訂正するとともに、ご迷惑をおかけした読者ならびに関係者各位にお詫び申し上げます。

【p.59】「802.11j製品の投入を足がかりに日本の無線市場へ注力」内の「海外では1次サービスのバックボーンとして...」は、「海外では11gサービスのバックボーンとして...」の誤りです。

【p.61】「タックスハウスWebビレッジ」のニュースにおいて、企業名に誤りがございました。正しくは「エフアンドエム」です。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp